



Rotary



新潟西ロータリークラブ

週 報



●会長／大澤 力

●幹事／森田雅巳

●公共イメージ向上委員長／斎藤将彦

例会日／毎週木曜日12時30分 例会所／新潟市中央区川端町6丁目53 ホテルオークラ新潟 TEL:025-224-6111

事務所／〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町905番地 第二西堀ビル5階 TEL:025-222-5050 FAX:025-222-5051

創立年月日／昭和50年6月5日 RI加盟年月日／昭和50年6月25日

第2,220回

2019・8月22日

本日の例会案内(8月22日)

卓話

『会員増強月間にちなみ』

角南 邦彦 氏(新潟南RC)

第2118回 2019年8月1日 例会報告

点 鐘

斉 唱

国歌『君が代』

ロータリーソング『四つのテスト』

握手タイム

会長挨拶 大澤会長

8月はRIが設定した会員増強・新クラブ結成推進月間となりますので、このテーマに沿った会長挨拶・卓話を展開していきたいと思えます。その皮切りとして、マーク・ダニエル・マローニー RI 会長が国際協議会で語った会員増強に対する考え方を紹介します。

(以下引用) ロータリーが急成長している地域もありますが、多くの地域では期待する変化が見られていません。昨年、ロータリーでは、誰も望んでいなかった記録が打ち立てられました。それは、ロータリー退会者数の記録です。期待した経験がロータリーで得られなかったから退会した、という人たちがいました。生涯ずっとロータリーを愛しているという人たちもいましたが、彼らは去りました。その能力、経験、リーダーシップと一緒にロータリーを去ったのです。

この課題への答えは、退会者の代わりに新入会者を増やすことではありません。それは、穴だらけのバケツに水を注ぐようなものです。会員減の根本原因、すなわち、会員の不十分な参加や、着実に進む会員の高齢化に取り組む必要があるのです。根本から変える時が来ていることは明らかです。会員の参加促進と多様化を阻む障害が何であるかは、もう分かっています。この知識を基に、行動を起こす時が来ています。新しい会員モデルをつくり、ロータリー入会への新しい道をひらき、既存のクラブが既存のニーズをかなえていないところで新

しいロータリークラブとローターアクトクラブをつくるのです。これは、クラブと会員基盤の成長が、なぜそれほど大切なのかをクラブ会長に理解してもらうだけでなく、そのための効果的な構造をクラブが備えられるようにすることを意味します。奉仕するロータリーと消えゆくロータリー、それを分かつのが会員増強であることを考えると、会員増強委員会のないクラブがいかに多いか、また、友人の勧誘を会員に強く勧めるだけのアプローチを用いているクラブがいかに多いかに驚きます。それは、すべてのクラブが一様にならざるを得ない道であったばかりか、成長のない20年間をもたらしました。必要なのは、組織的なアプローチです。全地区に会員増強委員長を任命すること、そして、個人ではなく地域社会に入念な目を向けることのできる多様な委員から成る会員増強委員会をクラブに設置することです。地域社会にいる人々のグループ、役職、職業のうち、クラブに会員がいないのはどれか？ 見つける必要があるのは、そういった人たちです。このアプローチは画期的でも何でもなく、ロータリーに古くからあるアイディアの一つにすぎません。つまり、「職業分類制度」と呼ばれるものです。113年間続いてきたものであり、これを再発見し、活用する必要があります。(引用終わり)

当クラブでは、今年度から会員増強担当委員会を小々委員会から小委員会に格上げし、年齢やロータリー歴、性別や職種においても多様な委員を配置し、会員維持・増強委員会と名称も変更しました。この委員会が中心となり、全会員を対象とした拡大会員維持・増強委員会の企画をお願いしております。もはや、ロータリーの会員増強は組織的に戦略計画をもってアプローチする時代ですので、皆さんからのご理解とご協力のほどお願いします。

米山奨学生に奨学金の贈呈 李 鈺さん挨拶

伝達 米山功労者 第9回マルチプル 野田誠記君
体験入会 須佐 歩さん

誕生・結婚記念日お祝い品の贈呈

高木親睦委員長